

# 陸前高田展～今日まで、そして未来へ～【同時開催～Create the Future～】

日時：平成24年5月10日(木)～18日(金) 場所：東京画廊(銀座)

同時開催：～Create the Future～(子どもたちの絵画展) 場所：ART FOR THOUGHT ギャラリー+カフェ(銀座)

9日間にわたり開催いたしました「陸前高田展」は、企業、教育関係、行政、支援団体、陸前高田出身者など500人余りの来場者を迎え、無事終了いたしました。

今回の「陸前高田展」は、4月26日に設立された『国営防災メモリアル公園を陸前高田市に誘致する会』の活動の一環として開催いたしました。会場には、震災直後から現在の様子の写真に加え、GWIに陸前高田市役所で開催された「名勝高田松原と奇跡の一本松作品展」より数点の作品を展示。さらに竹駒西地区に建設される「多目的ホール」の模型も展示いたしました。12日には、復興支援イメージソング「国道45号線」を歌う濱守栄子さんが応援に駆け付け、会場を盛り上げて下さいました。

16日には、兄弟デュオのサスケさんが陸前高田への思いを込めて「高田の一本松」を熱唱。この「高田の一本松」は津波で妹を亡くされた作詞家藤公之介さんが作詞。公演中に被災したサスケさんが作曲。「生きてりゃいいこときつとある」と被災者へのメッセージを込めた曲になっています。

この日は、戸羽太市長もご来場いただき、国営防災メモリアル公園の意味や瓦礫処理の問題、6月より公共施設が解体されることへの複雑な心境を語られました。最後に「陸前高田を忘れないで下さい！観光でもいいので陸前高田へ来て下さい」と熱いメッセージを残されました。



## 陸前高田災害FM 総務省より表彰

5月25日、総務省にて表彰式に参加。

震災以降、さいが FM放送局の開局と運営を通じ、多大な貢献をした事に対しNPO法人Aid TAKATAが表彰されました。

陸前高田市の復興はまだです。この街の発展と市民の皆さんの幸福が確認できて初めて貢献したと言えると思っています。ぜひこれからも皆さんとともに進んでいきたいと思っています。これからもご支援の程、よろしくお願いたします。

代表 村上 清

